

(付) 資料編

【参考資料】千葉にゆかりのある先達たち

千葉県道徳教育の指針では、千葉県における道徳教育の重点化の視点として「未来へつながる『いのち』」を掲げ、「郷土や国の伝統・文化を理解し、先陣の生き方に学び、よりよい未来を築こうとする態度を養う」としています。

ここでは、政治や文化など様々な分野で郷土や国の発展に大きく寄与した千葉県にゆかりのある主な人物を紹介します。

名 前	生没年	地 域	業 績
ち.ぼつねたね 千葉常胤	1118-1201	下総地域 上総地域	平安後期-鎌倉時代の武将。千葉常重（つねしげ）の長男。治承4年(1180)源頼朝の挙兵に応じ、御家人の筆頭として重んじられ、鎌倉幕府の成立に貢献。その功により下総守護に任じられ、下総、上総、肥前、豊前、陸奥などに所領をあたえられた。通称は千葉介（ちばのすけ）。
にちれん 日蓮	1222-1282	鴨川市	鎌倉中期の僧。日蓮宗の開祖。安房国生。天台寺院清澄寺の道善房を師として出家し、のち比叡山をはじめ京畿の諸寺に游学。『立正安国論』を著わし、独自の宗教活動を展開する。伊豆・佐渡へ流されたが、のち赦され身延山に隠棲する。
ひしかわもろのぶ 菱川師宣	?-1694	鋸南町	江戸時代前期の浮世絵師。安房国保田（現在鋸南町）に生まれる。挿絵画家として活躍をはじめ、古典から芝居・遊里風俗、当代女性などを題材に独自の庶民芸術を創始した。浮世絵版画の祖とされる。作品に版本「吉原恋の道引」肉筆画「歌舞伎図屏風」「見返り美人図」など。
あらいはくせき 新井白石	1657-1725	君津市	江戸時代中期の儒学者・政治家。久留里（現君津市）藩士の子として、江戸に生まれる。6代将軍家宣、7代将軍家継に仕え、7年あまりの間、幕政の改革にあたった（正徳の治）。学者としても優れ、『折たく柴の記』や、イタリア人宣教師シドッチから聞いてまとめた『西洋紀聞』などの著書がある。
おぎゆうそらい 荻生徂徠	1666-1728	茂原市	江戸中期の儒学者。25歳まで上総で過ごす。独学で儒学を修め、後に柳沢吉保に出仕。朱子学から出発しながらそれをこえる古文辞学を提唱。茅場町に護園（けんえん）塾を開き、多くの逸材を輩出。また8代将軍吉宗に「政談」を提出するなど、現実の政治にも関わった。
あおきこんよう 青木昆陽	1698-1769	千葉市 九十九里町	江戸中期の儒者・蘭学者。幕府書物奉行。飢饉対策として甘藷の栽培を勧め、「蕃藷考」を著す。小石川薬園（小石川植物園）と下総国千葉郡馬加村（千葉市花見川区幕張）と上総国山辺郡不動堂村（現在の九十九里町）とで試作させている。この結果、天明の大飢饉では多くの人命を救ったとされる。

名 前	生没年	地 域	業 績
いのうただたか 伊能忠敬	1745-1818	九十九里町 香取市	九十九里に生まれ、18才で佐原の伊能家を継ぎ、公益にも尽くした。50才で隠居後、天文・暦学を学び日本全国の正確な実測地図を作成した。
おおはらゆうがく 大原幽学	1797-1858	旭市	天保、嘉永、安政にかけての混乱した世相の中、長部村（現旭市）を中心に房総の各地をはじめ信州上田などで、農民の教化と農村改革運動を指導し大きな事績を残した人物。道徳と経済の調和を基本とした性学を説き、農民や医師、商家の経営を実践指導した。
ほりたまさよし 堀田正睦	1810-1864	佐倉市	文政8年(1825)に佐倉藩主となり、藩の改革に着手。「文武芸術の制」を定め、藩士の学問や武芸を奨励した。天保14年(1843)に蘭医佐藤泰然を招へい。西洋医学の振興にも力を注いだ。安政2年(1855)、老中首座に就任。日米修好通商条約締結のために奔走した。
さとうしゅんかい 佐藤 舜海	1827-1882	香取市 佐倉市	幕末明治期の医者。順天堂の2代目堂主。父は下総国小見川(現香取市)藩医。16歳で江戸に出て儒学を学び、医学は安藤文沢に入門したが、安藤の勧めで佐藤泰然の門に転じた。安政6(1859)年に泰然の養嫡子になり、佐倉藩医に任ぜられた。佐倉藩の医学改革を行い、佐倉仮養生所を開設した。
にしむらしげき 西村茂樹	1828-1902	佐倉市	東京生まれ。教育家。思想家。父は佐倉藩士。明治6年(1873)文部省に出仕。政府の欧化傾向に対し国民道徳の回復を訴え、9年(1876)東京修身学社を設立(のちに日本講道会、日本弘道会と改称)。『日本道徳論』などを発表、日本弘道会長として儒教中心・皇室尊重の国民道徳の普及に努めた。
しばはらやわら 柴原 和	1832-1905	千葉県	幕末-明治時代の武士、官僚。播磨竜野(兵庫県)藩士。初代千葉県令となり、千葉県発足から4か月後には日本で最初の県議会を設置した。一方で茶の栽培や養蚕業の奨励、犬吠埼灯台や千葉師範学校の設置などを行った。また、墮胎や間引きを厳しく禁じて育児支援政策を行った。
さとうしづ 佐藤志津	1851-1919	佐倉市	明治-大正時代の教育者。下総佐倉出身。嘉永4年5月11日生まれ。女子美術学校(現女子美大)の経営再建のための資金を提供し、明治35年校主、37年校長となった。夫は順天堂医院3代院長佐藤進。
つばいげんどう 坪井玄道	1852-1922	市川市	明治-大正期の体育家。戸外遊戯の必要性を説いて、海外スポーツの紹介普及に努めた。ローンテニス、ベースボール(野球)、フットボール(蹴球)の他、女子の体育方法として行進遊戯を用いるなど、その生涯を通して、当時の学校体育に不足していた「体育遊戯併用」を自ら体育教師として実践した。

【参考資料】千葉にゆかりのある先達たち

名 前	生没年	地 域	業 績
あさいちゆう 浅井 忠	1856-1907	佐倉市	洋画家。父は佐倉藩士。明治 22 年(1889)日本初の洋画団体、明治美術会を創立。31 年(1898)東京美術学校教授に就任。33 年(1900)フランスに 2 年間留学。帰国後、京都高等工芸学校教授に就任し、関西美術院を創立。門下に安井曾太郎、梅原龍三郎らがいる。代表作に「春畝」「収穫」「グレーの秋」など。
いしかわくらじ 石川倉次	1859-1944	市原市 茂原市など	千葉師範学校を卒業後、千葉県内の小学校の教師となる。ルイ・ブライユが考案した 6 点式点字で日本語を表記する事に成功、日本点字の父といわれている。
いとうさちお 伊藤左千夫	1864-1913	山武市	歌人、小説家。明治 33 年から正岡子規に師事し、子規没後の 36 年長塚節(たかし)らと歌誌「馬酔木」を創刊。のち「アララギ」を主宰した。歌論や小説も発表した。上総国武射郡殿台村(現在の山武市)出身。明治法律学校(現明大)中退。本名は幸次郎。小説に「野菊の墓」。
つだうめこ 津田梅子	1864-1929	佐倉市	教育家。明治 4 年(1871) 数え 8 歳で渡米、15 年(1882) 帰国。華族女学校教授になったが、22 年(1889) 再び米国に留学。帰国後は華族女学校教授に復帰。33 年(1900)、女子英学塾(現津田塾大学)を創立して英語教育や個性を尊重する教育に努め、女子高等教育の先駆者となった。
しらとりくらきち 白鳥庫吉	1865-1942	茂原市	明治-昭和時代前期の東洋史学者。上総国長柄郡出身。学習院教授、母校東京帝大の教授などを歴任。研究はアジア全域の歴史、民俗、言語、宗教など広範囲にわたる。「東洋学報」の刊行、東洋文庫の設立と運営など、東洋学の発展と後進の指導につとめた。「西域史研究」「卑弥呼問題の解決」など。
すずきかんたろう 鈴木貫太郎	1868-1948	野田市	第 42 代内閣総理大臣。昭和 4 年(1929)侍従長兼枢密顧問官に就任。侍従長在任中の 11 年(1936)、2・26 事件により襲撃を受け、一命をとりとめるが辞職。19 年(1944)枢密院議長、翌年首相となる。ポツダム宣言受諾後、総辞職した。
くにきだどっぽ 国木田独歩	1871-1908	銚子市	千葉生まれ、詩人、小説家。日清戦争に記者として従軍。その後、新聞雑誌に発表した詩を、田山花袋らとの合著『抒情詩』(1897)に、「独歩吟」としてまとめる。次いで浪漫的短編集『武蔵野』(1901)を刊行、続く『独歩集』(1905)、『運命』(1906)などで自然主義の先駆と目される。

【参考資料】もっと詳しく調べるために

◆自然、生命、環境などについて

施設等	所在地	電話番号	備考
千葉県生物多様性センター	千葉市中央区青葉町 955-2	043-265-3601	
千葉県環境研究センター	市原市岩崎西 1-8-8	0436-21-6371	大気・騒音・廃棄物・化学物質
	千葉市美浜区稲毛海岸 3-5-1	043-243-2935	水質・地質
千葉県農林総合研究センター	千葉市緑区大膳野町 808	043-291-0151	
千葉県畜産総合研究センター	八街市八街へ 16-1	043-445-4511	
千葉県水産総合研究センター	富津市小久保 3091	0439-65-3071	東京湾漁業研究所
	佐倉市臼井台 1390	043-461-2288	内水面水産研究所
千葉県立中央博物館	千葉市中央区青葉町 955-2	043-265-3111	
同 大利根分館	香取市佐原ハ 4500	0478-56-0101	
同分館 海の博物館	勝浦市吉尾 123	0470-76-1133	
千葉県いすみ環境と文化のさとセンター	いすみ市万木 2050	0470-86-5251	
我孫子市鳥の博物館	我孫子市高野山 234-3	04-7185-2212	
市川自然博物館	市川市大町 284	047-339-0477	
市川市動植物園	市川市大町 284-1	047-338-1960	
千葉市都市緑化植物園	千葉市中央区星久喜町 278	043-264-9559	
千葉市動物公園	千葉市若葉区源町 280	043-252-1111	
谷津干潟自然観察センター	習志野市秋津 5-1-1	047-454-8416	
大多喜町薬草園	大多喜町大多喜 486	0470-82-2165	

◆郷土の歴史や先人などについて

施設等	所在地	電話番号	備考
千葉県立関宿城博物館	野田市関宿三軒家 143-4	04-7196-1400	河川の歴史民俗関係資料, 関宿藩関係資料
野田市郷土博物館	野田市野田 370-8	04-7124-6851	考古・歴史・民俗・資料, 醤油関係資料, 童謡作曲家山中直治資料
流山市立博物館	流山市加 1-1225-6	04-7159-3434	考古資料・民俗資料・歴史資料・永井コレクション
松戸市立博物館	松戸市千駄堀 671	047-384-8181	歴史, 考古, 民俗
市立市川歴史博物館	市川市堀之内 2-27-1	047-373-6351	歴史・民俗資料
浦安市郷土博物館	浦安市猫実 1-2-7	047-305-4300	民俗・歴史資料・貝類標本
船橋市郷土資料館	船橋市薬円台 4-25-19	047-465-9680	考古・民俗・歴史資料
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	船橋市海神 4-27-2	047-495-1325	飛ノ台貝塚及び船橋市内縄文遺跡出土資料
八千代市立郷土博物館	八千代市村上 1170-2	047-484-9011	考古・民俗・歴史資料
千葉県立中央博物館	千葉市中央区青葉町 955-2	043-265-3111	自然誌関係資料, 歴史資料
千葉県立美術館	千葉市中央区中央港 1-10-1	043-242-8311	千葉県関係近・現代美術資料

【参考資料】もっと詳しく調べるために

施設等	所在地	電話番号	備考
千葉県立房総のむら	印旛郡栄町竜角寺 1028	0476-95-3333	伝統文化の継承と体験学習の場、県内各地の出土遺物
成田山霊光館	成田市土屋 238	0476-22-0234	美術・郷土玩具・考古・民俗・古文書・昆虫標本・植物標本
国立歴史民俗博物館	佐倉市城内町 117	043-486-0123	考古・歴史・民俗資料
千葉県立中央博物館大利根分館	香取市佐原ハ 4500	0478-56-0101	利根川の自然と歴史関係資料・房総の農業関係資料
芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	山武郡芝山町 438-1	0479-77-1828	考古資料
芝山はにわ博物館	山武郡芝山町芝山 298	0479-77-0004	考古資料（はにわ等）、歴史・民俗資料
袖ヶ浦市郷土博物館	袖ヶ浦市下新田 1133	0438-63-0811	考古・民俗・歴史・アクアライン・上総掘り関係資料
君津市立久留里城址資料館	君津市久留里字内山	0439-27-3478	久留里藩関係資料
茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市高師 1345-1	0475-26-2131	茂原市ゆかりの美術・郷土資料
睦沢町立歴史民俗資料館	長生郡睦沢町上之郷 1654-1	0475-44-0290	考古・農業民俗資料・小分書・仏像彫刻・復元民家
千葉県立中央博物館大多喜城分館	夷隅郡大多喜町大多喜 481	0470-82-3007	城郭関係資料・武器・武具等の武士関係歴史資料
千葉県教育振興財団文化財センター展示室	大多喜町森宮 8-3	0470-82-2425	考古資料
いすみ市郷土資料館	いすみ市弥正 93-1	0470-86-3708	古美術・考古・歴史資料
館山市立博物館	館山市館山 351-2	0470-23-5212	里見関係資料・考古・歴史・民俗資料・八犬伝関係資料
鴨川市郷土資料館	鴨川市横渚 1401-6	0470-93-3800	通貨・切手・書籍・文書・生活文化・産業
鋸南町歴史民俗資料館	安房郡鋸南町吉浜 516	0470-55-4061	考古・歴史・民俗資料・菱川師宣関係・醍醐新兵衛関連資料
伊能忠敬記念館	香取市佐原イ 1722-1	0478-54-1118	伊能忠敬関係資料
野田市鈴木貫太郎記念館	野田市関宿町 1273	04-7196-0102	鈴木貫太郎関連資料
佐倉順天堂記念館	佐倉市本町 81	043-485-5017	旧佐倉順天堂
旧堀田邸	佐倉市楠木町 274	043-483-2390	旧堀田邸関係資料
大原幽学記念館	旭市長部 345-2	0479-68-4933	大原幽学関係資料
山武市歴史民俗資料館	山武市殿台 392	0475-82-2842	伊藤左千夫関連資料
鋸南町歴史民俗資料館	鋸南町吉浜 516	0470-55-4061	菱川師宣関連資料

道徳教育の手引き

平成 30 年 3 月改訂

編集・発行／千葉県教育委員会

(教育振興部指導課)

〒260-8662 千葉市中央区市場町 1 - 1

電話 043-223-4059

印刷／株式会社 萌翔社



この冊子は、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業（文部科学省）の委託を受けて作成しました。